

News Letter

災害訓練を行いました



幡多けんみん病院では、9月1日【防災の日】に、南海地震を想定した大規模な災害訓練を行いました。

今回の訓練では、毎年秋に行っている恒例の災害訓練とは違う点がいくつかありました。

大規模災害では多数発生する傷病者を被災地外に搬送する広域医療搬送が行われますが、今回は、政府が行なう広域医療搬送訓練と連動し、ヘリコプターで重傷者を愛媛県のSCU（広域医療搬送拠点）に搬送する訓練を行ないました。当日はあいにくの悪天候であったため、予定していた当院への離着陸はできませんでしたが、傷病者に対して航空搬送用の処置を行なったり、カルテを作成する訓練などを行ないました。

また、県外からDMAT（災害派遣医療チーム）を受け入れ、災害拠点病院である当院でDMAT活動拠点本部を運営する訓練を行ないました。DMAT活動拠点本部では、厚生労働省DMAT事務局からの指示により、DMAT4チームが幡多けんみん病院での医療支援活動や渭南病院など地域の医療機関の状況を確認する訓練を行ないました。



これらは、阪神大震災や東日本大震災をうけて国などが整えてきた仕組みを実際に運用する訓練でしたが、訓練を行なってみると、適切な情報整理、伝達の難しさなどを感じました。

さらに今回は、重症度に応じて傷病者を分類するトリアージや応急処置などの医療活動のみでなく、物資を調達し、災害医療エリアの設営を行なうところからの訓練を行いました。その結果、エレベーターが使えないという想定で医療物資を2階の外来エリアに集めるためには、保管場所や輸送方法の再検討が必要、入院が必要となった患者の搬送方法も再検討が必要など、多くの課題があることが分かりました。

幡多けんみん病院では、高い確率での発生が懸念されている南海地震やその他の災害について、今回の訓練での反省点を生かし、今後も質の高い訓練を行ないながら準備を重ねていきたいと思います。

(総務課 塔岡 徹郎)



災害訓練の様子です！



糖尿病教室のご案内

興味のある方はお気軽に、みなさんお誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

(第1回、第2回は開催済みです。)

＊第3回

平成24年10月14日(日)

13時～14時30分

①「シックデイって何？」

こんな時あなたなら

どうする？」

糖尿病療養指導士

看護師 和田 望

②「実際に血糖値を

測ってみよう」

臨床検査技師

野町 真由・川窪 美乃莉



＊第4回(参加費600円)

平成24年10月27日(土)

12時30分～14時30分

(栄養バランス弁当つき)

①「室内でも出来る運動療法」

理学療法士 今橋 一幸

②「冠婚葬祭、年末年始は

食材選びと食べ方で

ひと工夫」

管理栄養士 井上 那奈



会場：幡多けんみん病院

3階 中会議室

【参加申込み・問い合わせ先】

TEL:

088016612222

担当：内科外来看護師 新見

第10回
幡多ふれあい医療公開講座

日時：平成24年10月6日(土)

13時30分開場、14時開始

場所：土佐清水市

社会福祉センター

(土佐清水市寿町11の9)

内容：

＃1「大腸がんをもっと知ろう」

急増する大腸がんの予防・

診断・治療について学んで

みませんか

幡多けんみん病院

副院長(外科) 上岡 教人

＃2「地域医療と連携」

渭南病院

院長(外科) 溝渕 敏水



参加費：無料

どなたでも参加できます。

主催：幡多けんみん病院

後援：土佐清水市・四万十市・

宿毛市・黒潮町・三原村・

大月町・幡多福祉保健所・

幡多医師会

問い合わせ先：

＊幡多けんみん病院

(TEL)

0880-66-2222

＊各市町村担当部署



★認定看護師の紹介★

《がん化学療法看護認定看護師》

外来 桑原 由美



当院の外来治療室（主に化学療法による点滴治療を行う部署です）は平成16年4月に開設しました。

私は、その当時より化学療法を受けられる患者さんと関わらせて頂いています。抗がん剤治療と聞くと強烈なテレビドラマの影響で、脱毛や激しい嘔吐で食事も食べられず痩せ細りとても辛く辛い治療法と連想するかもしれません。現在はその副作用を抑える為の支持療法や短時間で投与出来る抗がん剤が増え

た事で化学療法は外来で行われる事が主となりました。

しかし、患者さんの抱く苦痛が取り除かれたわけではありません。



近年では分子標的薬剤などの進歩より、新たな副作用も現れ患者さんの生活に影響を及ぼすようになりました。そんな中、私は治療室でただ安全に点滴を実施している看護師でいいのだろうか、と感じるようになり昨年9月から、がん化学療法看護認定看護師を目指し7ヶ月間の研修に行く機会を得ました。

治療室で治療を受けられる患者さんと看護師との関わりは、患者さんの人生においては点でしかないのかもしれませんが、それぞれの患者さんの背景、価値観を尊重し、どうすればその方らしく生活できるか、化学療法や疾患に伴う苦痛を少しでも軽減できるよう、認定看護師としてはまだまだ未熟ではありますが

が、患者さんと共に考え、成長していきたいと思えます。

そして、患者さんの生活において点が、日常に繋がるいわゆる線となった看護を目指して行きたいと思えます。

季節性インフルエンザ ワクチン接種について

10月より定期インフルエンザの予防接種が開始されますが、当院では原則として、外来でのインフルエンザワクチン接種は実施いたしません。

（小児患者さん、妊婦さんについては小児科外来・産婦人科外来にてご相談下さい。）

※例外的に高度免疫抑制状態の患者さんなど、医師がワクチン接種を必要と判断した場合には、医師から患者さんへワクチン接種の希望を確認後、ワクチン接種をする場合があります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願致します。

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの(薬剤情報提供書・お薬手帳など)**を持って行くようにしましょう！

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

診療体制の変更 について

平成24年9月より、皮膚科の外来診体制が表のとおり変更となっております。

	月	火	水	木	金
午前	○	予約のみ	×	○	予約のみ
午後	手術	手術	○	×	手術

変更があった箇所は、表の下線箇所です。

*外来（予約外）の受付時間は11時までとなっております。

*火曜日、金曜日は予約患者さんのみの診察となります。

*水曜日の受付開始時間は14時から、診察開始時間は14時30分からです。

ホームページリニューアル について

平成24年9月28日より、当院ホームページがリニューアルされることとなりました。

インターネットを使用される際には、是非ご覧になってみて下さい。「幡多けんみん病院」で検索して頂くと、ホームページが見られます。



8月の統計

外来患者数	12,749人
新外来患者数	2,029人
新入院患者数	558人
退院患者数	558人
平均在院日数	13.2日
救急車・時間外患者数	1,256人
手術件数	213件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。